

恋愛・結婚調査2023

20～40代未婚者のうち、恋人がいる人は29.7%。
交際経験のない20代男性は46.0%、女性は29.8%でそれぞれ前回比増加。
恋愛観を見ると、「恋愛するなら結婚のため」という価値観が
20代男女の中で広まっている

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する『リクルートブライダル総研』では、恋愛、結婚の実態について詳細を把握するため、「恋愛・結婚調査2023」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

20～40代の未婚者の中で恋人がいる人の割合は29.7%。男女共に交際経験なしの割合が増加（P3～）

- 20～40代の未婚男女のうち、恋人がいる人の割合は29.7%で、約3割。恋人がいない人の割合は70.3%。交際経験のない人の割合は34.1%で調査実施以来最高値。
- 恋人がなく交際経験もない人の割合を見ると、20代男性（46.0%）は前回調査比で11.8ポイント増加。20代女性（29.8%）は前回調査比で5.5ポイント増加と、どちらも過去調査と比較して増加傾向。

恋愛イメージを探ると「恋愛するなら結婚のため」という価値観が20代男女の中で広がっている（P5～）

- 「結婚を意識する相手としか付き合わない」に対して「非常にあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ割合は、20代男女が増加傾向。20代男性（34.6%）は2017年から比べて10.9ポイント増加、20代女性（44.3%）は6.6ポイント増加。
- 「恋愛は時間とお金の無駄である」項目を見ると男女全年代で2017年比増加。特に20代女性（19.4%）は7.2ポイント、20代男性（23.7%）は6.3ポイント、30代女性（23.6%）は12.8ポイント、30代男性（21.7%）は7.4ポイント増加した。

結婚意向は未婚者全体で減少。また、男女で比較すると女性の方が減少幅が大きい（P7）

- 20～40代の未婚男女のうち、「（いずれは）結婚はしたい」人の割合は46.1%、「どちらとも言えない」人の割合は28.3%、「（今後も）結婚はしたくない」人の割合は25.6%。2019年以降から「（いずれは）結婚はしたい」人の割合は年々減少している一方、「どちらとも言えない」「（今後も）結婚はしたくない」と答えた人の割合は年々増加。
- また、男女比較すると、女性の方が男性よりも「（いずれは）結婚はしたい」と答えた人の割合の減少幅が大きい。また、女性は「どちらとも言えない」と答えた人が27.0%で、2017年から8.6ポイント増加。

結婚したくない理由は男性は「金銭的理由」や「扶養の責任への負担」の理由が強く、女性は「行動や時間の制限」「必要性を感じない」ことが理由として高い（P8～）

- 結婚意向がない人・どちらとも言えない人の「結婚したくない理由」上位5項目は、「金銭的に余裕がなくなるから（36.4%）」「行動や生き方が制限されるから（35.8%）」「メリットを感じないから（24.8%）」「自由や気楽さを失いたくないから（24.4%）」「必要性を感じないから（22.6%）」だった。
- 男女それぞれの最も割合が高い項目を見ると、男性は「金銭的に余裕がなくなるから（42.5%）」、女性は「行動や生き方が制限されるから（40.5%）」。
- 男性は女性よりも「金銭的理由」や「扶養の責任への負担」の理由が強く、女性は男性に比べ「行動や時間の制限」「必要性を感じない」ことが理由として高い。

「職場状況や働き方」と「結婚意向」に関係がある（P10）

- 「仕事・職場の状況」に対して結婚意向別で比較すると、男性で最も差が大きかったのは「休暇が取りやすい職場である」（20.4ポイント差）。女性では「既婚者が多い職場である」（13.9ポイント差）。男性は“時間的余裕をつくりやすいこと”、女性は“ロールモデルが職場にいること”がより関係している。

【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

【調査期間】

2023年9月5日(火)～2023年9月6日(水)

【調査対象】

全国の20～49歳の未婚男女

【回収サンプル数】1,200人

本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウェイトバック集計)

※未婚者に離別、死別者(今は結婚していない)は含んでいない

回収サンプル構成

| | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 女性 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

合計:1,200サンプル



本調査対象者(1,200ss)に関して、「令和2年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)」を用い、ウェイトバックによる補正を行った

ウェイトバック補正後のサンプル構成

| | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 183 | 138 | 99 | 82 | 79 | 86 |
| 女性 | 174 | 118 | 74 | 57 | 53 | 56 |

合計:1,200サンプル

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。

◆人口構成比算出元データ

・令和2年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)より

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/>

■過去調査(2021年/2019年/2017年調査)の概要

| | 2021年調査 | 2019年調査 |
|---------|-----------------------------|-----------------------------|
| 調査方法 | インターネットによるアンケート調査 | インターネットによるアンケート調査 |
| 調査期間 | 2021年9月27日(月)～2021年9月29日(水) | 2019年9月12日(木)～2019年9月14日(土) |
| 調査対象 | 全国の20～49歳の未婚男女 | 全国の20～49歳の未婚男女 |
| 有効サンプル数 | 2,400人 | 2,400人 |

| | 2017年調査 |
|---------|-----------------------------|
| 調査方法 | インターネットによるアンケート調査 |
| 調査期間 | 2017年9月22日(金)～2017年9月24日(日) |
| 調査対象 | 全国の20～49歳の未婚男女 |
| 有効サンプル数 | 4,200人 |

恋人がいる人の割合

20～40代の未婚男女のうち、恋人がいる人の割合は29.7%で、約3割。

恋人がいない人の割合は70.3%。交際経験のない人の割合は34.1%で調査実施以来最高値。

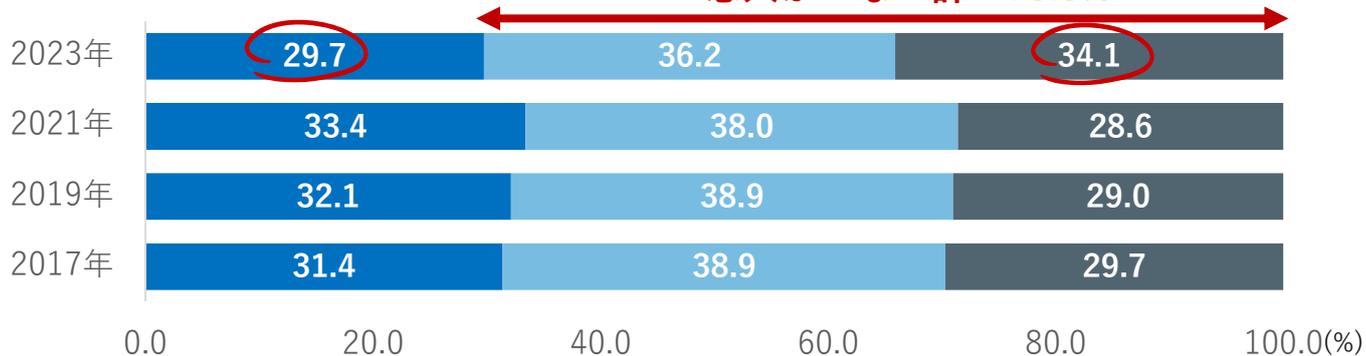
■ 恋人がいる人の割合(未婚者全体/単一回答)

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

■ 現在恋人がいる ■ 現在恋人がいない（付き合ったことはある） ■ 現在恋人がいない（付き合ったことがない）

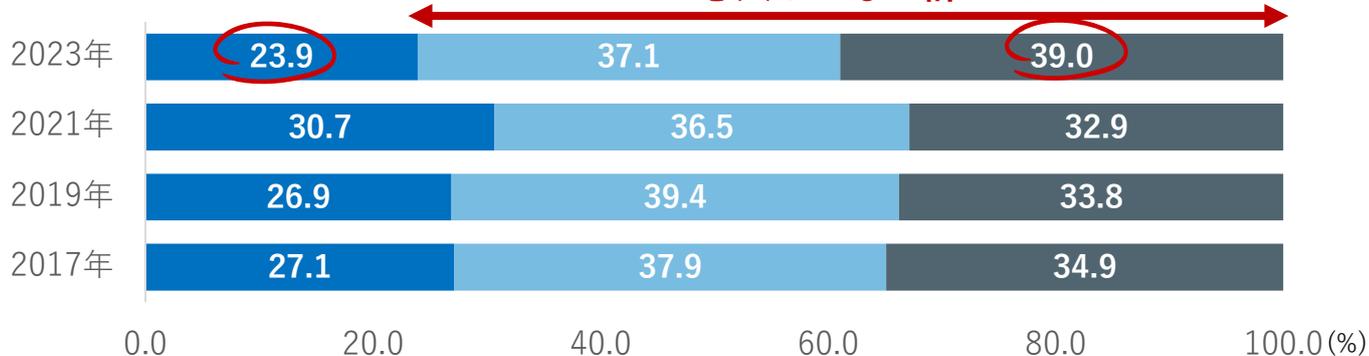
〈全体〉

恋人がいない計：70.3%



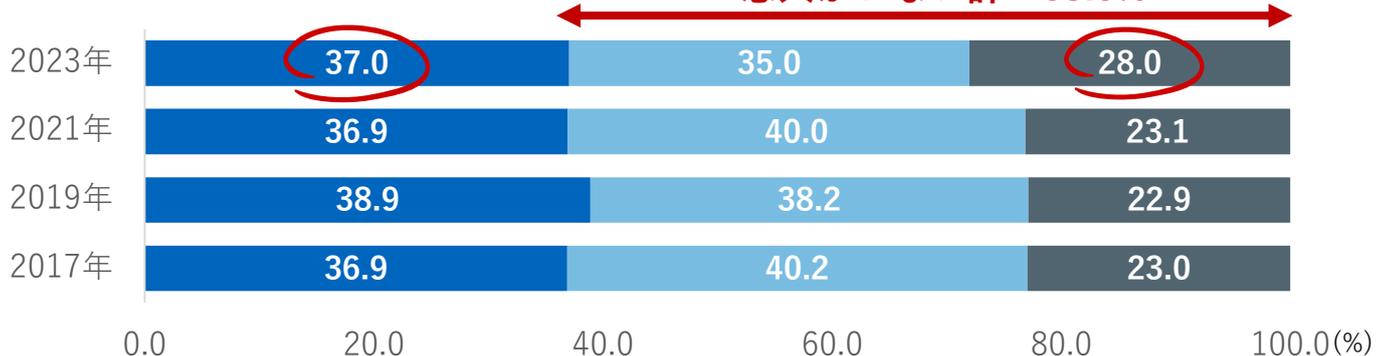
〈男性〉

恋人がいない計：76.1%



〈女性〉

恋人がいない計：63.0%



恋人がいる人の割合(男女年代別)

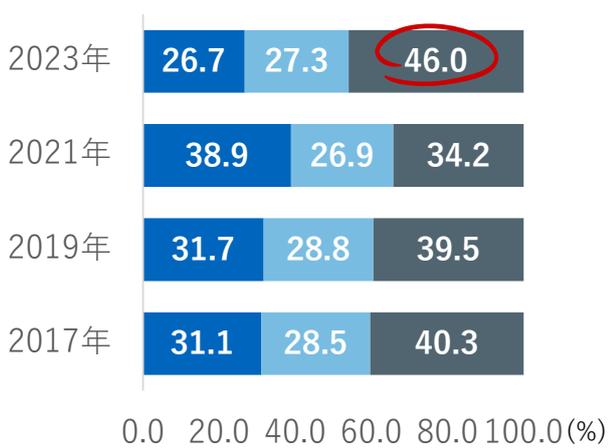
恋人がなく交際経験もない人の割合を見ると、20代男性（46.0%）は前回調査比で11.8ポイント増加。20代女性（29.8%）は前回調査比で5.5ポイント増加と、どちらも過去調査と比較して増加傾向。

■ 恋人がいる人の割合(未婚者全体/単一回答)

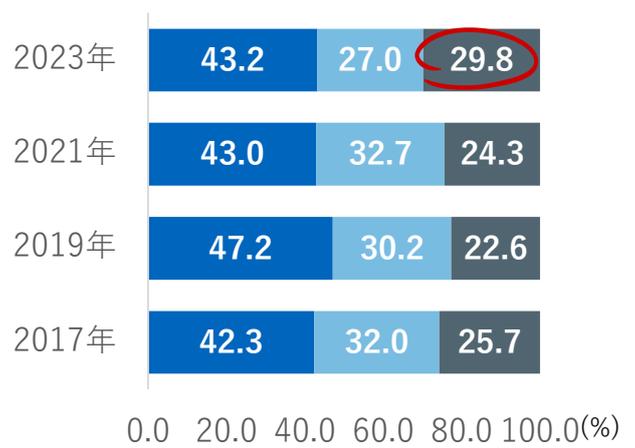
※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

■ 現在恋人がいる ■ 現在恋人がない（付き合ったことはある） ■ 現在恋人がない（付き合ったことがない）

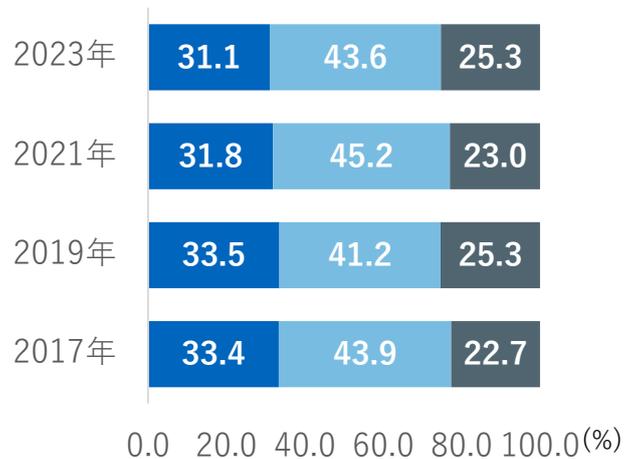
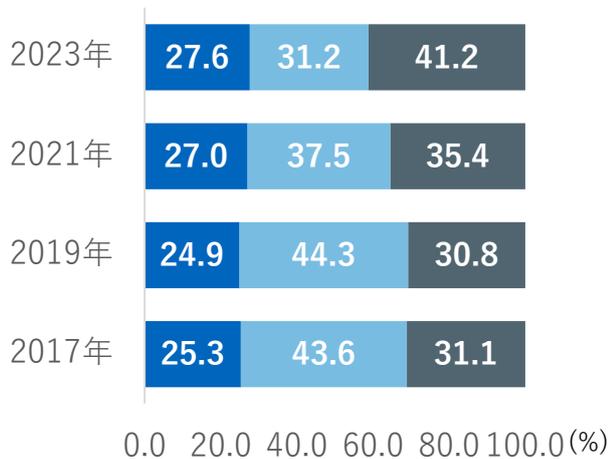
〈男性〉



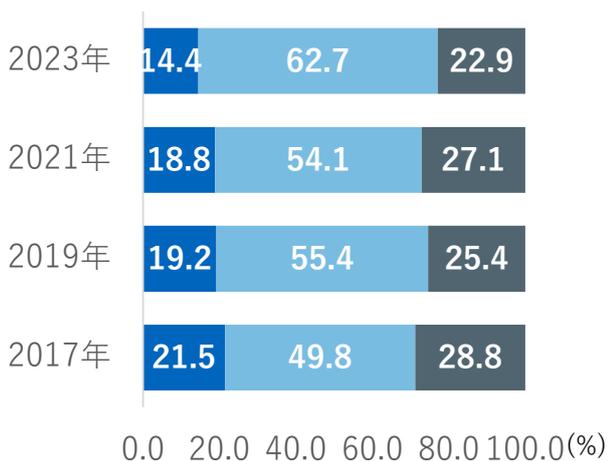
〈女性〉



20代



30代



40代

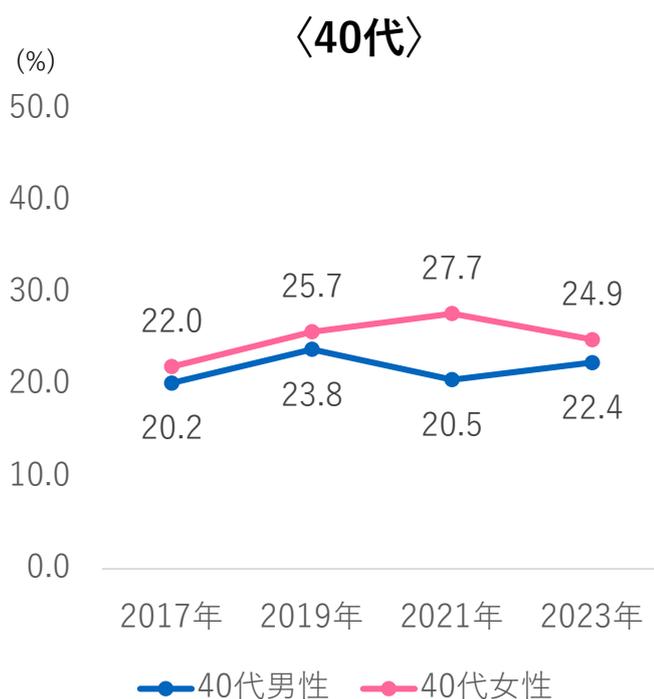
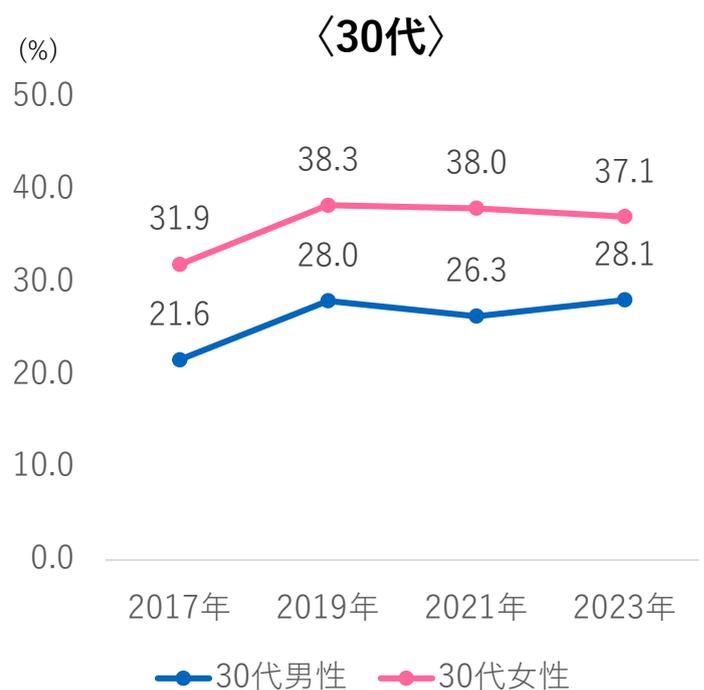
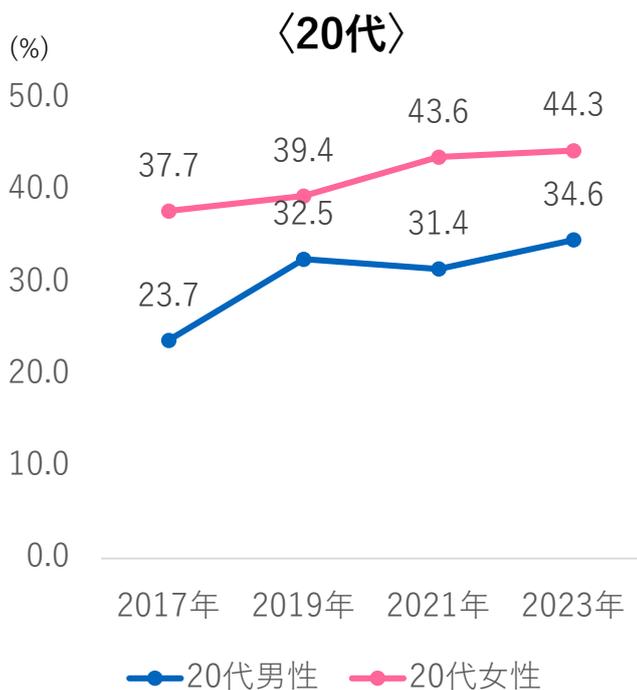
「恋愛に対する価値観」変化

「結婚を意識する相手としか付き合わない」に対して「非常にあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ割合は、20代男女が増加傾向。20代男性(34.6%)は2017年から比べて10.9ポイント増加、20代女性(44.3%)は6.6ポイント増加。

■ 「恋愛」に対する考え方(未婚者全体/単一回答)

※グラフの数値は、「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらとも言えない」「ややあてはまる」「非常にあてはまる」の5段階で尋ねたうち、「ややあてはまる」+「非常にあてはまる」の合計

【結婚を意識する相手としか付き合わない】



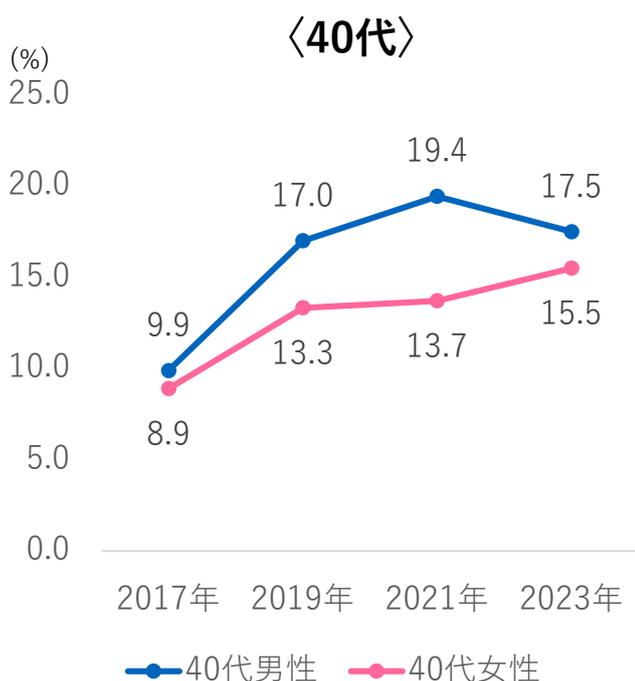
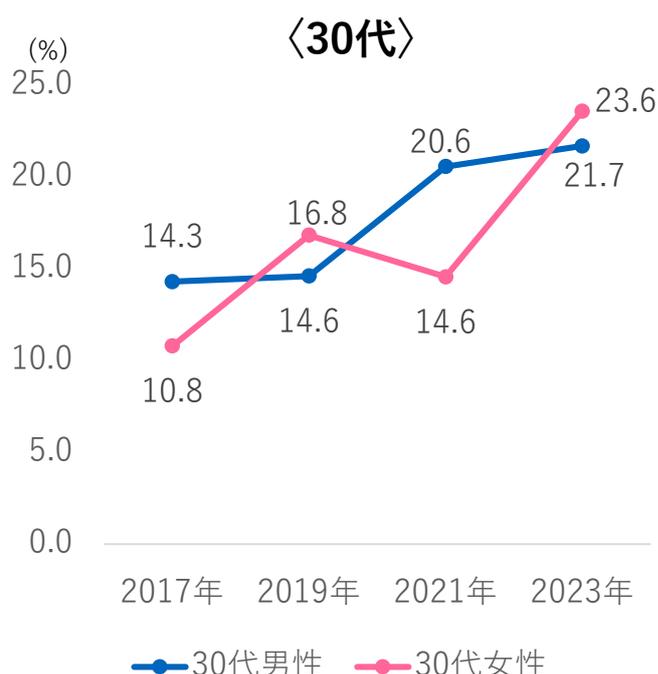
「恋愛に対する価値観」変化

「恋愛は時間とお金の無駄である」項目を見ると男女全年代で2017年比増加。特に20代女性(19.4%)は7.2ポイント、20代男性(23.7%)は6.3ポイント、30代女性(23.6%)は12.8ポイント、30代男性(21.7%)は7.4ポイント増加した。

■ 「恋愛」に対する考え方(未婚者全体/単一回答)

※グラフの数値は、「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらとも言えない」「ややあてはまる」「非常にあてはまる」の5段階で尋ねたうち、「ややあてはまる」+「非常にあてはまる」の合計

【恋愛は時間とお金の無駄である】



結婚意向がある人の割合

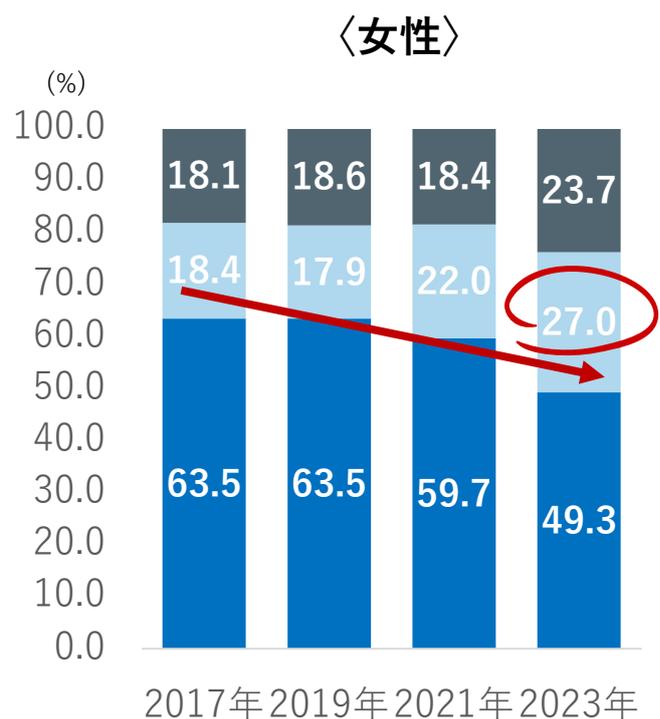
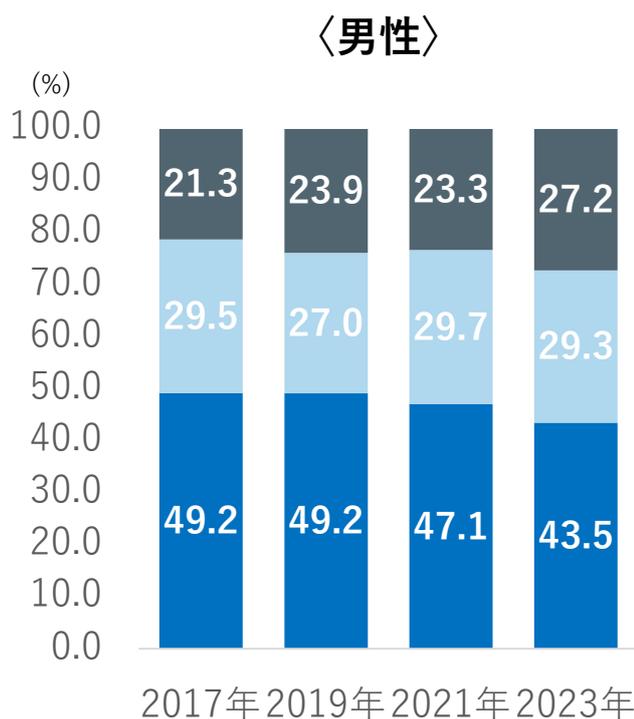
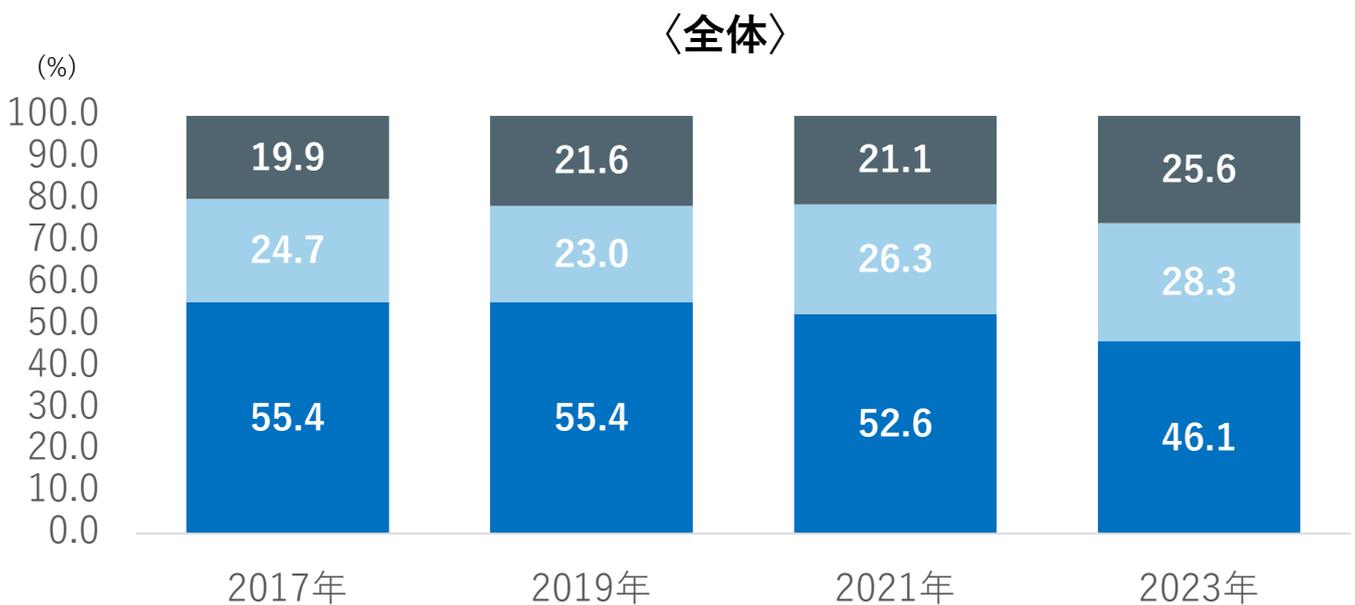
20～40代の未婚男女のうち、「(いずれは)結婚はしたい」人の割合は46.1%、「どちらとも言えない」人の割合は28.3%、「(今後も)結婚はしたくない」人の割合は25.6%。

2019年以降から「(いずれは)結婚はしたい人」の割合は年々減少している一方、「どちらとも言えない」「(今後も)結婚はしたくない」と答えた人の割合は年々増加。また、男女比較すると、女性の方が男性よりも「(いずれは)結婚はしたい」と答えた人の割合の減少幅が大きい。また、女性は「どちらとも言えない」と答えた人が27.0%で、2017年から8.6ポイント増加。

■ 結婚したい人の割合(未婚者全体/単一回答)

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

■(いずれは)結婚はしたい ■どちらとも言えない ■(今後も)結婚はしたくない



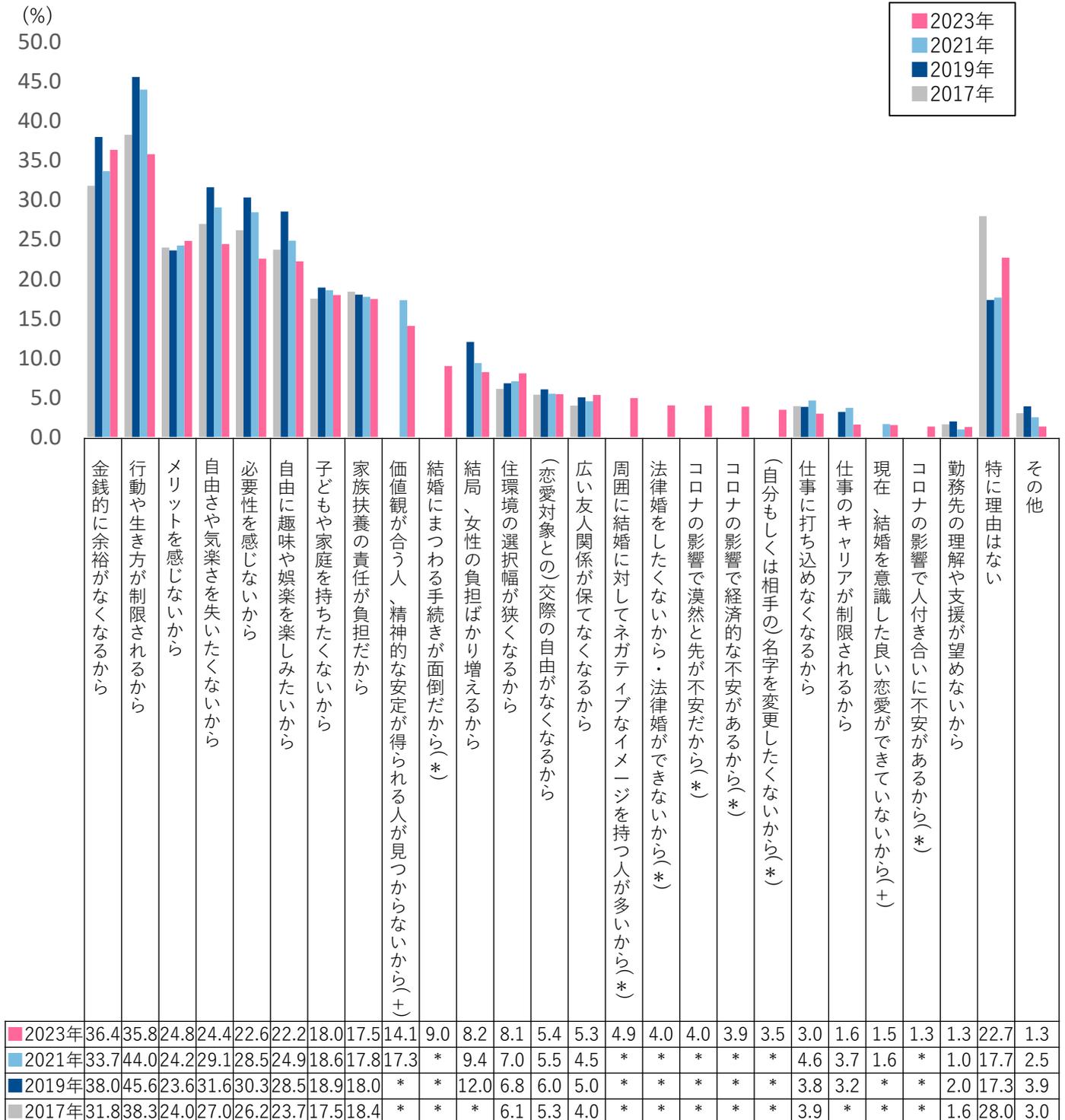
結婚意向がない人の「結婚したくない理由」

結婚意向がない人・どちらとも言えない人の「結婚したくない理由」上位5項目は、「金銭的に余裕がなくなるから(36.4%)」「行動や生き方が制限されるから(35.8%)」「メリットを感じないから(24.8%)」「自由や気楽さを失いたくないから(24.4%)」「必要性を感じないから(22.6%)」だった。

■ 結婚したくない理由(結婚意向がない未婚者全体/複数回答)

※グラフの数値は、「(今後も)結婚はしたくない」「どちらとも言えない」の合計値

※2023年スコア降順ソート



※2021年調査より「異性との交際の自由がなくなるから」を「(恋愛対象との)交際の自由がなくなるから」に変更

(+)は2021年調査から追加

(*)は2023年調査から追加

男女それぞれの最も割合が高い項目を見ると、男性は「金銭的に余裕がなくなるから(42.5%)」、女性は「行動や生き方が制限されるから(40.5%)」。

男性は女性よりも「金銭的理由」や「扶養の責任への負担」の理由が強く、女性は男性に比べ「行動や時間の制限」「必要性を感じない」ことが理由として高い。

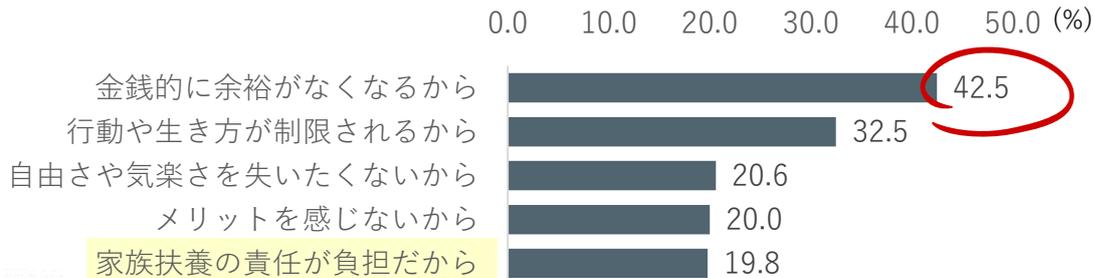
■ 結婚したくない理由(結婚意向がない未婚男性全体/複数回答)

※グラフの数値は、「(今後も)結婚はしたくない」「どちらとも言えない」の合計値

※上位5項目を抜粋、降順ソートにて抽出

※TOP5の中で各性別のみに出た項目

〈男性TOP5〉



男性が女性よりも理由として高い項目

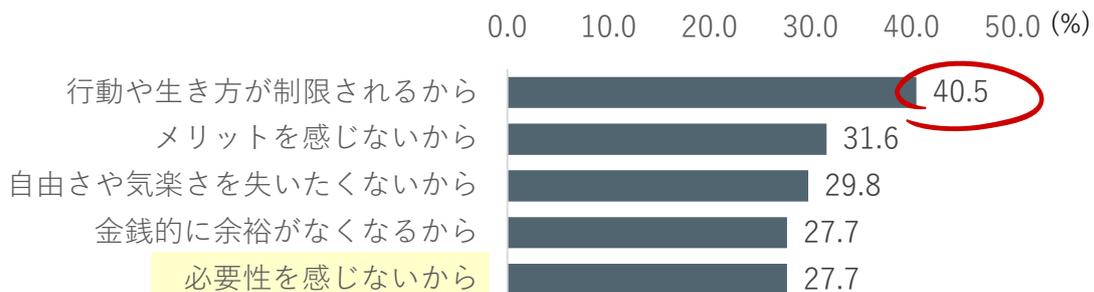
金銭的理由、扶養の責任への負担

- 金銭的に余裕がなくなるから(+14.8pt)
- 家族扶養の責任が負担だから(+5.5pt)
- 住環境の選択幅が狭くなるから(+5.1pt)
- 特に理由はない(+4.5pt)
- コロナの影響で経済的な不安があるから(+4.1pt)

※男性が女性よりも3ポイント以上高い差分項目を降順で抽出

■ 結婚したくない理由(結婚意向がない未婚女性全体/複数回答)

〈女性TOP5〉



女性が男性よりも理由として高い項目

行動や時間の制限、変化・負担感など多岐にわたる

- メリットを感じないから(+11.6pt)
- 結局、女性の負担ばかり増えるから(+11.5pt)
- 自由さや気楽さを失いたくないから(+9.2pt)
- 必要性を感じないから(+8.8pt)
- 行動や生き方が制限されるから(8.0pt)
- 自由に趣味や娯楽を楽しみたいから(+8.0pt)
- 子どもや家庭を持ちたくないから(+7.2pt)
- 価値観が合う人、精神的な安定が得られる人が見つからないから(+7.1pt)
- (自分もしくは相手の) 名字を変更したくないから(+3.4pt)

※女性が男性よりも3ポイント以上高い差分項目を降順で抽出

結婚意向別、職場環境の違い

「仕事・職場の状況」に対して結婚意向別で比較すると、男性で最も差が大きかったのは「休暇が取りやすい職場である」（20.4ポイント差）。女性では「既婚者が多い職場である」（13.9ポイント差）。男性は“時間的余裕をつくりやすいこと”、女性は“ロールモデルが職場にいること”がより関係している。

■ あなたのお仕事、職場の状況として、あてはまるものをお答えください（未婚者全体/各項目単一回答）

※結婚意向「あり」は「（いずれは）結婚はしたい」、結婚意向「なし」は「（今後も）結婚はしたくない」「どちらとも言えない」の合計値

※結婚意向「あり」－結婚意向「なし」の差分による降順ソート

※グラフの数値は、「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらとも言えない」「ややあてはまる」「非常にあてはまる」の5段階で尋ねたうち、「ややあてはまる」+「非常にあてはまる」の合計

